

パ ス ピ ー

PASPY終了後の乗車券システム

交通系ICカードPASPYのサービス終了に伴い、各公共交通は、
「MOBIRY DAYS」や交通系ICカード「ICOCA」による運用に代わり
ます。

国土公共交通政策部 (☎504-2934、☎504-2426)

◆PASPYのサービス終了日

アストラムライン 11月30日(土) バス・広電電車 来年3月29日(土)

※払い戻し終了日は2027年3月31日(水)です(全社共通)

◆PASPYに代わる乗車券システム

事業者／問い合わせ先		開始日	
		MOBIRY DAYS	ICOCA
バス	広電グループ(広島電鉄、芸陽バス、備北交通、エイチ・ディー西広島)／ひろでんコールセンター☎0570-550700 6:30～21:00 年中無休	9/7 *1	来年3/30 *2
	広島バス／☎0570-017-960 平日9:00～17:30	時期未定	来年3/30
	広島交通／☎238-7755 平日9:00～17:40		
	JRバス中国／☎0570-010-666		
	フォーブル／☎878-0006 平日9:00～17:00	×	12/1
電車	広島電鉄／ひろでんコールセンター☎0570-550700 6:30～21:00 年中無休	9/7	来年3/30 *2
アストラムライン	広島高速交通／☎830-3111 平日9:00～17:45	×	12/1

*1 一部路線は7月20日から運用開始

*2 簡易型IC端末(降車時のみタッチ)

◆利用方法

区分	MOBIRY DAYS	ICOCA
支払い	二次元コード(会員登録などしてスマートフォンで表示)か専用ICカード	ICカードかモバイルICOCAなど
チャージ	スマートフォンアプリかウェブサイト、窓口で	バス車内(簡易型IC端末は不可)かアストラムライン各駅などで

詳しくは、市ホームページで **市HP** ページ番号 **394416**



広島広域都市圏の魅力

広島県、山口県、島根県の3県にまたがる30市町で構成する広島広域都市圏にはおいしいものや楽しいスポットが盛りだくさん。ぜひそれぞれの市や町を訪れてみてください。

広島広域都市圏推進課(☎504-2017、☎504-2029)



和木町:やまももソフトクリーム

独自のグルメや地酒

圏域内には独自のグルメや地酒など、魅力あふれるおいしいものがたくさんあります。各市町の食や酒の魅力をホームページで紹介しているほか、市役所市民ロビーや各区役所でパンフレットを配布。各市町の自慢の味をご堪能ください。



三原市:広島みはらプリン



岩国市:五蔵の地酒



大竹市:あたたハマチtoレモン

すてきなスポットや楽しいイベント

圏域内には、それぞれの地域資源を生かした魅力あふれるすてきなスポットがたくさん。イベントやグルメ情報などをホームページやインスタグラムなどで発信しています。



柳井市:金魚ちょうちん祭り



北広島町:壬生の花田植

●ひろしま公式観光サイト「Dive! Hiroshima」



広島周辺地域の魅力的な観光情報などを届けるウェブサイト



●Instagram「ひろたび」



広島広域都市圏内のグルメやスポットなどを写真と共に紹介



●広島広域都市圏イベント情報紙「リーぶら」



圏域内市町の旬なイベント情報の紹介や季節ごとの注目スポットを特集



もし、「Jアラート」が鳴ったら!!

Jアラート(全国瞬時警報システム)から緊急情報が伝達されたときの、とるべき行動を確認しておきましょう。

国土危機管理課(☎504-2653、☎504-2802)

国からの緊急情報

Jアラートとは、弾道ミサイル情報、緊急地震速報、津波情報といった対処に時間的余裕のない事態が生じたときに、市民の皆さんへ、とるべき行動などを伝達するシステムです。人工衛星や地上回線を使って国から送信され、市町村の防災行政無線などが

自動起動します。屋外スピーカーなどから特別なサイレン音とともにメッセージが流れるほか、緊急速報メールで緊急情報を知らせます。

落ち着いてすぐに行動を

直ちに身の安全を確保するため、落ち着いてすぐにとるべき行動をとみましょう。

Jアラートが鳴ったら、まずは身の安全の確保を!

【弾道ミサイル情報】

- 屋外では、近くの建物か地下に避難
- 建物がいないときは、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭を守る
- 屋内では、窓から離れるか窓のない部屋に移動



市HP
ページ番号
17770



【緊急地震速報】

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難
- 慌てて外に飛び出さない
- 無理に火を消そうとしない
- ブロック塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



市HP
ページ番号
17826



【津波情報】

- 急いで高台や、津波に対応した指定緊急避難場所などに避難



市HP
ページ番号
17831



敬老の日に「火の用心」の贈り物

9月1日～21日に、高齢者へ住宅用防災機器などのプレゼントを呼び掛ける「住宅防火・防災キャンペーン」を行います。大切な家族を火災から守るために、敬老の日にプレゼントしませんか。

消防防局予防課(☎546-3476、☎249-1160)

犠牲者の約7割が高齢者

市消防局管内で過去5年間の住宅火災による死者を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が約7割を占めています。高齢者の命を住宅火災から守るためには、住宅用防災機器など

を設置することが重要です。

贈り物には、火災を知らせる住宅用火災警報器や扱いやすい住宅用消火器などがお薦めです。

また、火災を予防するため、寝たばこ防止やこころ・ストーブなどの火の取り扱いに注意しましょう。

……………こんなものがあります 住宅用防災機器など……………

■住宅用火災警報器



煙や熱を感知し、音や音声で火災の発生をお知らせします。市条例で、寝室や階段などへの設置が義務付けられています

■住宅用消火器



高齢者でも使いやすい、軽量でホースがないタイプも。火元を狙いやすく、消火剤の詰め替えや点検不要のものがお薦めです

■防災品



炎に接しても、接触部分が焦げるだけで簡単には燃え広がらない服、カーテン、じゅうたん、エプロン、タオルケット、寝具 など

住宅用火災警報器の点検・交換を

住宅用火災警報器は古くなると、電子部品の劣化や電池切れなどで火災を感知なくなります。定期的に点検し、10年を目安に交換しましょう。



命を守るため、点検しよう!